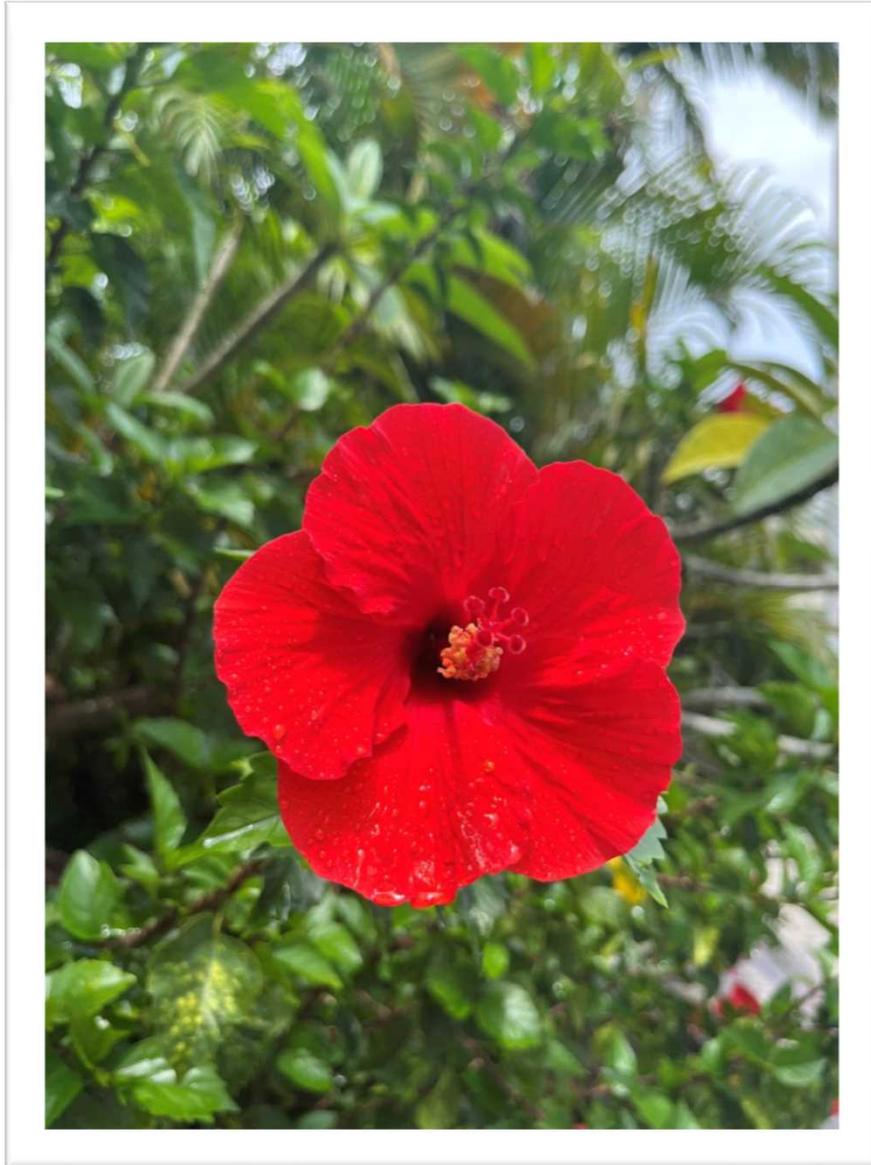


# 令和6年度入省予定 内定者の声



環境省一般職事務系 内定者一同

# はじめに

この度は「内定者の声」をご覧くださりありがとうございます。  
とうございます。

本書は、令和6年度入省予定の一般職事務系(高卒区分)の内定者が、環境省を志望しよう思ったきっかけや、内定に向けて取り組んだ勉強方法や対策などをまとめたものです。

一般職事務系を志望されている方、環境省に興味関心のある皆様のために作成をいたしました。進路を選択するにあたっての1つの材料として是非ご活用ください。

本書をきっかけに、環境省に対してより関心を持っていただけますと大変嬉しく思います。

## ○内定者A

【出身地】埼玉県

【最終学歴】高校卒（専門学校？）

【趣味／特技】読書／手先を使うこと

### 【環境省の志望動機】

自然そのものが好きで、それらにダイレクトに関連する環境問題に深い関心があり、多角的な視点で向き合いたいと思い志望いたしました。

### 【公務員試験の勉強方法・面接対策】

筆記試験・・・とにかく過去問を解き、問題に慣れる。

面接試験・・・どの角度からの質問でも完璧に答えられる絶対的なエピソードを持つてくること、自分自身の理解度を上げること。

## ○内定者B

【出身地】神奈川県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味】スキューバダイビング

### 【環境省の志望動機】

海や森など自然に囲まれた環境で育ち、趣味であるスキューバダイビングなどの経験を通して環境問題を身近に感じてきたことから、環境問題の解決に貢献したいと考えたため。

### 【公務員試験の勉強方法・面接対策】

1次試験はとにかく繰り返し解き、確実に解ける問題を1つずつ増やしていくことが大切です。特に前半20問の知能分野はしっかり固めておくと思います。

面接は、志望動機や学生時代の経験、そして入省後どのように貢献していくかを一貫性を持った内容にして説得力を持たせることが大事だと思います。また、受験する官庁についてしっかりと知識を付けておく必要があるため、積極的に説明会に参加して、気になった点を質問していくと思います。

## ○内定者C

【出身地】神奈川県

【最終学歴】専門学校卒

【趣味、特技】サッカー、筋トレ

### 【環境省の志望動機】

私が環境省を志望した動機は、温暖かなどの気候変動について興味があり、それらの問題に関わる仕事がしたいと考えたからです。

### 【公務員試験の勉強方法・面接対策】

学校にいる間に勉強をしまくりました。先生から頂いた問題集などを繰り返し解き、理解していました。それ以外ではリフレッシュの時間に当てていました。面接対策は、パンフレットなどを見て自分が興味あるものについて調べ、知識を深めていました。

## ○内定者D

【出身地】大阪府

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味、特技】動画・配信視聴 ショッピング

### 【志望動機】

私が環境省を志望した理由は、現在や未来の国民のために環境をより良くしていきたいと考えたからです。現在、私達の生活に多くの影響を及ぼしている環境問題を改善し、私達や未来の国民の皆さまがより快適に過ごしていけるようにしていきたいと考えた為志望いたしました。

### 【公務員試験の勉強方法、面接対策】

私は、公務員の専門学校に通っていたので、学校で配布される問題集を中心に勉強を行っていました。

面接対策も学校で練習を行っていました。特に私は、自分が話すときに長々と話すのではなく内容を2秒以内に簡潔に纏めて話すことを意識していました。官庁訪問の際は、環境省に勤めたいという熱意を伝えることが大切だと考えています。

## ○内定者E

【出身地】 沖縄県

【最終学歴】 専門学校 卒業見込み

【趣味、特技】 ドラマ・音楽鑑賞、書道

### 【志望動機】

父が農業をしているので、幼い頃から自然や生き物に触れてきました。自然の美しさを守るため、環境保全に関わりたいと思い、環境省で働きたいと思いました。日本と世界を隔てることなく、働きかけ守りあうことで、人も生き物も過ごしやすい環境を作りたく志望しました。

### 【公務員試験の勉強方法】

公務員の専門学校に通っていたので、学校のテキストを活用しながら模試や過去問に取り組みました。また、効率化を考え、テスト中は苦手な問題を後回しにするなど時間の配分を調整しました。苦手な問題は「そのままにしないこと」を意識して先生や友人に質問をするなどの努力しました。

### 【面接対策】

なぜ環境省でないといけないのかという自分の考えを再確認する必要があります。その上で、返答のレパートリーを増やすことが大切です。学校の先生だけでなく、外部の施設等も活用しながらたくさんの人と面接練習をすることをお勧めします。そして、1番大切なのは、自分の言葉で伝えることだと考えます。

## ○内定者F

【出身地】長野県

【最終学歴】高等学校卒業見込み

【趣味/特技】ダンス

### 【志望動機】

私は中学生の頃から環境問題を解決したいという思いがあり、環境問題に関わる仕事をするには一番の場所だと思い環境省を志望しました。

### 【勉強方法】

(基礎能力試験)

テキストを購入して、わからなかった問題を中心に何周もしていました。また、近くの公務員専門学校での講習会や模擬試験に参加して、解ける問題を増やしていきました。

### (面接)

インターネットでどのようなことが質問されるかを調べて、どのように答えるかノートに書き出していました。入室のしかたなどの作法も勉強して、緊張していてもできるように普段から意識していました。

### (官庁訪問)

説明会に参加して、話に出てきた知らなかった言葉を調べて、すぐに確認できるように採用パンフレットに書き込んでいました。また、私は東京に慣れておらず不安だったため、他の省でしたが対面での説明会に参加しました。霞ヶ関駅までの行き方や庁舎の入り方を説明会に参加してわかったことで当日その分の緊張がなく向かうことができたので一度は対面の説明会に参加した方がいいと思います。

## ○内定者G

【出身地】茨城県

【最終学歴】専門学校卒業見込み

【趣味/特技】卓球、カラオケ、歴史探索、アニメ鑑賞

### 【志望動機】

私が環境省を志望した理由は、高校生の時に地球温暖化について勉強したことがきっかけでした。地球温暖化によって人間を含む多くの生物が危機的状況に陥っているということを知り、これを改善していきたいと思うようになりました。

### 【勉強方法・面接対策】

#### ・学科試験

私は高校1年生の春から学科試験の勉強を始めました。近くに公務員の専門学校があり、

そこで講習会というものをやっていたのでそれに参加したり、オンライン講座で公務員の勉強を教えてくださる塾があったので、有料ではありましたがそこで勉強を継続していきました。

専門学校では、問題演習の時期がありましたので、そこでは自分が解けなかった問題を徹底的に復習し続けました。

#### ・面接・作文対策

学校の先生や、通っていたオンライン講座の講師の方を中心に面接練習をしました。事前に質問して欲しいことを先生方に伝え、質問していただき、それに対して返答する練習を行っていました。それぞれの質問に対し、最低3通りの返答を考えるようにしていました。

国家公務員試験の官庁訪問では、自分が訪問するところに対し、業務内容などについて事前に調べるようにしていました。

作文対策では、問われるお題について過去問などを参考にし、実際に原稿用紙に記入して先生方に添削していただくなどの対策を行っていました。

#### 【アドバイス】

私は公務員の勉強に対して2年半以上の時間を費やしましたが、勉強時間が半年程度でも合格している方は多いのでご安心ください。学科試験の勉強は、問題集の復習を中心にやっていると合格率が高くなると思います。満点を取ろうとするのではなく、自分が点数を取りやすいところをさらに伸ばしていくと良いと思います。受験するところの下調べは念入りに行いましょう。市役所では最近受験日が不規則な市町村が増えておりますので、ホームページなどで受験日の確認をしておくことが大切です。

面接対策では、色々な意見を取り入れるためにも、より多くの方と練習することが大切です。

皆様と共に働ける日を楽しみにしております。

## ○内定者H

【出身地】東京都

【最終学歴】専門学校

【趣味、特技】ピアノ

## ○志望動機

私は、母の実家がある奄美大島で幼い頃から自然に触れ合う機会が多くありました。そこで自然の偉大さを知り、素晴らしい自然を守っていきたいと思うようになりました。そして、環境保護に携わることのできる環境省を志望しました。

## ○勉強方法

自分自身が一番集中できる時間帯を見つけ勉強していました。私は朝型だったので、朝早くに起き前日の復習を中心に行っていました。また、公務員試験直前には、過去問題を中心に関き、得意な分野で確実に得点できるように何度も繰り返しました。

## ○面接対策

面接官と会話をすること、表情や声のトーンで自分自身を表現することを心がけました。また、環境省に入省したいという熱意が伝わるように言葉選びなどをしました。

# 終わりに

～環境省志望者へのメッセージ～

「内定者の声」を最後までご覧いただき、  
ありがとうございます。  
皆様が進路を選択するにあたって、少しでも  
お役に立てれば幸いです。  
就職活動を進めるにあたり、不安なことがあ  
るかと思います。  
その際は、説明会などに積極的に参加をして、  
疑問や不安を少しでも解消してください。  
皆様には後悔の残らない就職活動をしてほし  
いと切に願っております。  
最後になりますが、本書をお読みになった皆  
様と共に働ける日が来ることを、令和6年度  
内定者一同心から楽しみにしております！！